特集号の論文募集

当部門では，論文誌（部門誌）に一般の投稿論文を掲載するほか，特集号として企画されたテーマについて論文の募集を行っております。投稿された論文は，従来どおり論文委員会で査読を行い採否を決定いたしますが，創造性，有用性，新規性のいずれかに価値が認められる論文を広く掲載する編集方針をとっております。なお，査読の関係や応募件数多数などの都合で特集号に掲載できない論文は，一般論文として取り扱われますのであらかじめご了解下さい。

現在，当部門で募集中のものは次のとおりです。投稿の手引きが必要な場合は，次からダウンロードすることもできます。

http://www.iee.jp/?page_id=642

「光を基盤技術とした生体センシング」特集
Special issue on Biosensing Based on Optics

論文誌 E（センサ・マイクロマシン部門誌）では，2020 年 3 月号に「光を基盤技術とした生体センシング」に関する特集号を企画しています。

近年の半導体微細加工技術・材料科学の進展により，これまでに開発・実用化されてきた光デバイスの性能を凌駕する高性能・高機能光デバイスの研究開発が進められています。加えて開発された光デバイスは，通信・太陽光発電だけでなく，センシングへの応用展開も精力的に進められており，超高感度に疾病マーカー分子を検出可能なセンサ，一細胞・一分子レベルでの分子挙動観察や臓器・組織レベルでの疾患部位イメージングといった「生体センシング」が可能になってきています。

「光」を基盤技術とした生体センシング技術は，デバイスの設計，材料，センサ応用，MEMS，マイクロマシン技術等多岐にわたる技術が融合することで実現可能となるものです。加えて産業応用についても視野に入れた研究開発を進めることによって実用化が可能となると考えています。

このような状況を踏まえ本特集号では，今後の社会・産業に大きなインパクトを与えることが予測される光を基盤技術とした生体センシングに関連する論文を幅広く募集します。以下のキーワードを参考に奮ってご投稿をお願いします。

キーワード　生体計測，光情報処理，バイオセンサ，化学センサ，ナノフォトニクス，プラズモニクス，バイオフォトニクス，分光分析，デバイス材料，産業応用（医療・創薬・ヘルスケア），生体イメージング，内視鏡，OCT，可変波長光源

投稿締切　2019 年 9 月 27 日（金）
刷り上り 6 ページ程度，和文または英文，レター（刷り上り 2 ページ）も可。詳細は論文投稿の手引きに従って下さい。

投稿方法　Web 投稿をご利用の上，投稿先「論文誌 E」，原稿種別「論文／研究開発レター」を選択し，特集テーマ「論文誌 E 2020 年 3 月号光を基盤技術とした生体センシング特集号」を選択して下さい。

投稿手引／投稿先 URL　http://www.iee.jp/?page_id=642

ゲストエディタ　山田　憲嗣
大阪大学大学院　医学系研究科
Tel：06-6105-5249，Fax：06-6105-5249

問合せ先　遠藤　達郎
大阪府立大学大学院　工学研究科
Tel：072-254-9284，Fax：072-254-9284
E-mail：endo@chem.osakafu-u.ac.jp

「令和元年度センサ・マイクロマシン部門総合研究会」特集
Special Issue on “Selected papers in the Technical Meetings on Sensors and Micromachines 2019”

E 部門（センサ・マイクロマシン部門）では，2013 年度（平成 25 年度）よりセンサ・マイクロマシン部門総合研究会と部門誌が連携して「センサ・マイクロマシン部門総合研究会特集号」を企画しております。今回，「令和元年度センサ・マイクロマシン部門総合研究会」の特集号を 2020 年（令和 2 年）5 月号に企画しています。総合研究会にご投稿される「研究会資料」をもとに加筆のうえ，論文誌にご投稿いただくことができます（一般投稿論文と同様の査読プロセスが入ります）。研究会資料として執筆いただいた研究の内容を「査読付学術論文」とするために，是非この機会をご利用いただいてご投稿いただきますようお願い申し上げます。

また，非会員のみによる投稿もできます。詳細は、下記編修副委員長までお問い合わせ下さい。

投稿締切　2019 年（令和元年）8 月 26 日（月）
刷り上り 6 ページ程度，和文または英文，レター（刷り上り 2 ページ）も可。詳細は論文投稿の手引きに従って下さい。

投稿方法　Web 投稿をご利用の上，投稿先「論文誌 E」，原稿種別「論文／研究開発レター」を選択し，特集テーマ「令和元年度センサ・マイクロマシン部門総合研究会特集号」を選択して下さい。

投稿手引／投稿先 URL　http://www.iee.jp/?page_id=642

ゲストエディタ
2019 年度（令和元年度）E 部門総合研究会 実行委員長
石田　寛　東京農工大学　生物システム応用科学府
Tel：042-388-7420，Fax：042-388-7420
E-mail：h_ishida@cc.tuat.ac.jp

問合せ先　E 部門誌 編修副委員長
河野　剛士　豊橋技術科学大学　電気・電子情報工学系
Tel：0532-44-6738，E-mail：kawano@ee.tut.ac.jp

第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム同時投稿

論文誌 E（センサ・マイクロマシン部門誌）では，第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムの同時投稿を募集しています。

第 36 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムにご投稿の講演論文を，同時に論文誌 E に投稿いただく「同時投稿」を歓迎いたします。本「同時投稿」制度では，シンポジウム講演論文と同一の内容のご投稿いただいても「二重投稿」「著作権上の問題」には当たりません* ので，皆様の研究成果をシンポジウムの枠を超えて，より広く発信いただくためにご利用いただけます。

また，非会員のみによる投稿もできますが，この機会にぜひ電気学会へご入会下さい。非会員のみの投稿に比べて掲載料もお得です。

* 電気学会論文誌投稿手引［1］投稿規則 2.1 (6) による

投稿締切　2019 年（令和元年）11 月 1 日（金）
刷り上り 6 ページ程度，和文または英文，レター（刷り上り 2 ページ）も可。詳細は論文投稿の手引きに従って下さい。

投稿方法　Web 投稿をご利用の上，投稿先「論文誌 E」，原稿種別「論文／研究開発レター」を選択し，特集テーマ「第 36 回『センサ・マイクロマシンと応用システム』シンポジウム同時投稿」を選択して下さい。

投稿手引／投稿先 URL　http://www.iee.jp/?page_id=642

問合せ先　E 部門誌 論文主査
安藤　妙子　立命館大学 理工学部
Tel：077-561-2744，E-mail：tando@fc.ritsumei.ac.jp

© 2019 The Institute of Electrical Engineers of Japan.